

見ごろ:11月中旬頃～



### 巴橋から

巴橋は飯盛山のほぼ全景を見ることができるところで、待月橋と並んで、大変人気のある撮影スポットです。

屋間の景色も素敵ですが、夜のライトアップも美しく、まるで山が燃えたかのように見えます。ライトアップは11月上旬から12月初旬の日没から午後9時まで行われます。

ライトアップ時



- AED 設置場所
- 撮影スポット
- トイレ

### たいげつきょう 待月橋

見ごろ:11月中旬頃～



香嵐溪のシンボリック存在の待月橋。撮影スポットとして大変人気のある場所です。

また、飯盛山側の岸には『五色もみじ』と呼ばれるもみじがあり、緑、黄緑、黄、橙、赤とその名の通り、五色のグラデーションで紅葉していくのが楽しめます。

五色もみじ

### アクセス

- <公共交通機関>
- 名鉄名古屋本線 東岡崎駅下車、名鉄バス 足助行き約60分 香嵐溪下車
  - 名鉄三河線 豊田市駅下車、名鉄バス 矢並経由足助線 足助行き約45分 香嵐溪下車
  - 名鉄豊田線 浄水駅下車、とよたおいでんバス さなげ足助線 百年草行き約60分 香嵐溪下車
- <車>
- 東海環状自動車道 豊田八八IC下車、国道153号足助方面に約15Km
  - 東海環状自動車道 豊田松平IC下車、県道39号足助方面に約15Km
  - 鞍ヶ池スマートIC (ETC専用) 下車、県道39号足助方面に約12Km
  - 猿投グリーンロード カ石IC下車、国道153号足助方面に約10Km

### もみじのトンネル

見ごろ:11月下旬頃～



香積寺までの参道は背の高いもみじで覆われているので、トンネルをくぐっているかのように見えます。午後の西日が当たると紅葉したもみじの葉が光で透けて見え、道いっぱい赤く染まります。

タクリの群生地  
タクリの花は早春3月下旬～4月上旬が見ごろです

飯盛山  
254m

頂上、一の谷付近も綺麗ですよ

### 香嵐溪広場

見ごろ:11月中旬頃～



川からの冷気の影響が早めに色づきます。ベンチに座ってお弁当を食べながら、ゆっくり鑑賞できます。



もみじまつり期間中は猿回や和太鼓、お茶会、陶器展などのイベントが開かれ、足助屋敷前では、おなじみの五平餅や刀削麵、フランクフルトなど様々な屋台が並びます。

### 香積寺

見ごろ:11月下旬頃～



香嵐溪のもみじは、江戸の初期に香積寺十一世三栄和尚が楓や杉を植えたのがはじまりとされています。その後、大正・昭和のはじめに地元住民の手によって植えられ、現在では、約4,000本ものもみじがあるとされています。

### つり橋(香嵐橋) 付近



香嵐溪の東側にある赤いつり橋(香嵐橋)付近は、朝日がよく当たる場所。そのまぶしい光に照らされたもみじが、色鮮やかに巴川の静かな水面に映ります。ここは園地内でも比較的早めに色づき始めます。

### 川見えん堤付近



穏やかな川の水面ともみじがとても綺麗です。川原に腰を下ろしてゆっくりと鑑賞できます。

見ごろ:11月中旬頃～

### 川見えん堤付近



穏やかな川の水面ともみじがとても綺麗です。川原に腰を下ろしてゆっくりと鑑賞できます。

見ごろ:11月中旬頃～

### つり橋(香嵐橋) 付近



香嵐溪の東側にある赤いつり橋(香嵐橋)付近は、朝日がよく当たる場所。そのまぶしい光に照らされたもみじが、色鮮やかに巴川の静かな水面に映ります。ここは園地内でも比較的早めに色づき始めます。

# 香嵐溪 紅葉みどころマップ



紅葉の見ごろ  
11月中旬～12月初旬  
香嵐溪には、様々な紅葉スポットがあります。巴川沿いを歩くのもよし、飯盛山を登ってみるのもよし。マップを片手に自分なりのルートでもみじ狩りを楽しんでみませんか? ※年によって見ごろが前後する場合があります。



一の谷の紅葉

- 夫恋薬師
- 落部 駐車場
- のんぶり
- WC

# ASUKE WALK

## 香嵐溪

足助の代名詞『香嵐溪』。秋の紅葉はもちろんのこと、香嵐溪は、四季を通じてさまざまな表情を見せてくれます。

春の到来を告げるカタクリの花。新緑が眩しい初夏。夏はもみじの緑陰に涼を求め、巴川では子供たちの水遊びの歓声がこだまします。秋は絢爛豪華な紅葉に衣がえ。紅葉の鮮やかな色あいが川面までも染めつくし、まるで錦絵の様な美しさを見せています。

▲香嵐溪の新緑

▲新緑と山桜で萌える飯盛山

## カタクリの花の群落



春まだ浅い3月下旬、香嵐溪の飯盛山北西斜面一帯にカタクリの花が咲き乱れます。ピンク色の花が太陽の光を浴びて、風に揺れる様子は、可憐な少女のようにも見えます。

## 山野草

春の香嵐溪は山野草の宝庫でもあり、キクザキイチゲ、ヒトリシズカ、ヤマドリソウ、ニリンソウなどのかわいらしい花が次々と咲き続けます。



▲キクザキイチゲ



▲ヒトリシズカ



▲ヤマドリソウ

## 香積寺



杉木立ともみじに覆われた香積寺は、名を飯盛山と号す曹洞宗の古刹で、応永34年(1427)に創建されました。

香嵐溪のもみじは、香積寺11世の三栄和尚が寛永11年(1634)に植えたのがはじまりといわれています。



▲三栄和尚

## 三州足助屋敷



香嵐溪の中心に建つ三州足助屋敷は、かつてのこの地方の生活を今に伝えています。ここでは明治時代の豪農屋敷をモデルに新築し、私たちの周りから消えていった、機織り、炭焼き、紙漉き等多くの手仕事を復活・再現し、生活を省みる場所となっています。



- 休館日 / 毎週木曜日、年末年始 (祝日、及び4月29日～5月5日、11月中は開館)
- 入館料 / 大人300円、高校生以下100円
- お問い合わせ  
豊田市足助町飯盛36  
TEL (0565)62-1188  
URL <http://www.asuke.aitai.ne.jp/~yashiki/>

## 足助と町並み



足助は愛知県の北東にあり、豊田市のほぼ真ん中に位置しています。古くから太平洋側と中部山岳地帯と結ぶ伊奈街道の要地であり、戦国時代には、武田信玄をはじめとする戦国諸雄の軍兵が行き来した道でもありました。

三河湾でとれた塩を信州に運んだことから『塩の道』と呼ばれ、その物資の運搬には馬が使われたことから『中馬街道』などとも呼ばれています。

足助の町並みは、その街道とともに栄えてきました。

平成23年、足助の町並みは国の『重要伝統的建造物群保存地区 (略称：重伝建)』に選定され、着実に保存が図られていきます。



▲馬頭観音



▲マンリン小路



▲本町の町並み



▲足助川から見た町並み

## 町並みの催事

町並みでは、早春の町並みを華やかに彩る『中馬のおひなさん』、華やかな花車が引き廻される女の子のお祭り『足助春まつり』、街道を照らし、夏夜の町並み散策を楽しむ『たんころりんの夕涼み』、威勢のよい若衆の掛け声とお囃子、4台の豪華な飾りの山車が引き廻される『足助まつり』など、四季を通じて様々な催事が行われます。



▲中馬のおひなさん



▲足助春まつり



▲たんころりんの夕涼み



▲足助まつり

## 百年草



高齢化社会の中で、足助は住民一人ひとりが「生涯現役」でいられる福祉をめざしています。

宿泊施設と、おじいさん、おばあさんの手づくりで知られるZizi工房のハマヤパーバラはうすのパンの他にも、ホテル、入浴施設、本格的なフランス料理が味わえるレストランもあります。

- 定休日 / 毎週水曜日
- お問い合わせ / 豊田市足助町東貝戸10  
TEL (0565)62-0100 FAX (0565)62-2389  
URL <http://www.hyakunensou.co.jp/>



## 足助観光協会

〒444-2424 愛知県豊田市足助町宮平34-1  
TEL (0565) 62-1272 FAX (0565) 62-0424  
URL <http://asuke.info/>